

第2回 郡山アーバンデザインセンター・コンペティション

福島発・地域と共に生きるデザイン

Design With Region From Fukushima

現地説明会

2012年2月5日



本日の予定

第2回郡山アーバンデザインセンター・コンペティション
現地説明会

1. コンペ概要説明 14:00~
2. 提案対象敷地視察 14:30~
3. 清家剛・有馬裕寿 テーマ解題シンポジウム15:30~
4. UDCKoカフェ（懇親会）17:00~

郡山アーバンデザインセンターUDCKo

Urban Design Center Koriyama

・ 公民学が協働して運営する新しい公共体

公：並木町会

民：地元企業

学：東京大学

- ・ NPO法人、2008年11月設立
- ・ 故北沢猛東京大学教授によるアーバンデザインセンター(UDC)の展開
- ・ 地方中核都市版公民学連携型UDC



UDCKoの体制

- ・ 理事長 兼センター長
清家 剛 東京大学准教授
- ・ 副理事長 兼副センター長
田中大朗 東京大学特任研究員
- ・ 理事
柳沼 慎 並木町会長
福井邦頭 日本全業工業(株)代表取締役会長 / 福島県経営者協会連合会会長 / 東北経済連合会副会長
宗像 剛 ラボットプランナー(株)代表取締役社長
園部好洋 ラボットプランナー(株)専務取締役
前田英寿 芝浦工業大学教授



前回のコンペ (第1回UDCKoコンペティション)

前回のコンペ（第1回UDCKoコンペティション）

第1回コンペの概要

- ・審査委員会：曾我部昌史、知野泰明、本田勝之助
柳沼愔、前田英寿、宗像剛
- ・対象地：並木地区内の幹線道路（内環状線）沿い
- ・テーマ「郊外の可能性 Revision of Suburbia」
- ・ハード・ソフトの両面からでのデザインの提案を募集

現地説明会・テーマ座談会（2009/9/23） 参加：50人

- ・審査員によるテーマの解題・公開座談会

1次提案締切（2009/11/20） A3版提案 応募総数：178点

1次審査会（2009/11/27） 10作品を選出

2次公開審査（2010/1/23） A1版提案
10組が公開プレゼンテーション

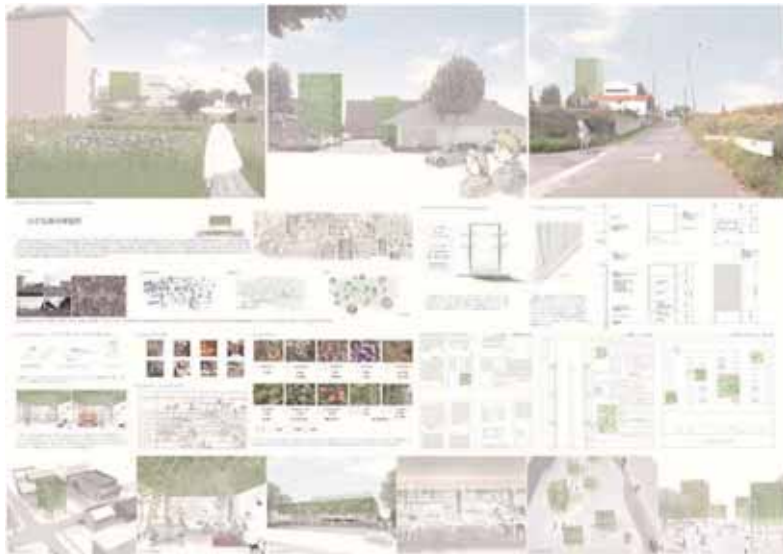
- ・最優秀賞1点、優秀賞1点、三等賞1点、入賞7点を選出



前回のコンペ（第1回UDCKoコンペティション）

最優秀提案 慶應義塾大学 妹島和世研究室

- ・駐車場の既存機能を維持して上部を緑化、下部を住民活動の場とする提案



資料1)

1. 基本的な理念

1. 豊かな自然と共に暮らす

: 既存の豊かな自然と共に生き続けられる場とすること。

2. 持続可能なコミュニティの実現

: 何世代にも渡ってこの場所が愛され受け継がれること。

3. 自然エネルギーの活用

: 対象地の有する温泉の熱源をはじめとした自然エネルギーを最大限活用すること。

2. 導入を想定する機能

対象エリアへ導入を想定している機能と活動を参考までに例示するが、提案はこれらに縛られる必要はありません。

A) 環境共生住居

: 環境と共に生きる生活、自然に囲まれ地に足の着いた暮らしを可能とする住まい。

B) 芸術文化活動の拠点

: 対象地を含む周辺エリアでの芸術文化活動を育む場。

C) 新しい農業研究機能

: 温泉の熱源を活用した新たな農業の研究を行う。

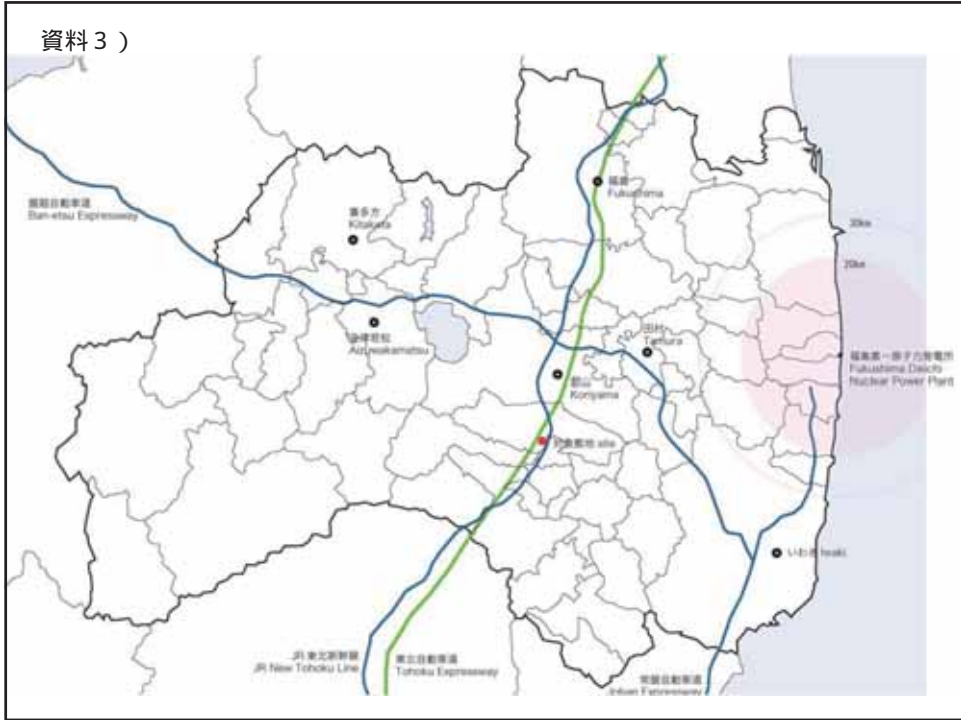
D) 生活支援機能

: 上記の生活や活動を支える、医療・商業・高齢者福祉・備蓄等の機能。

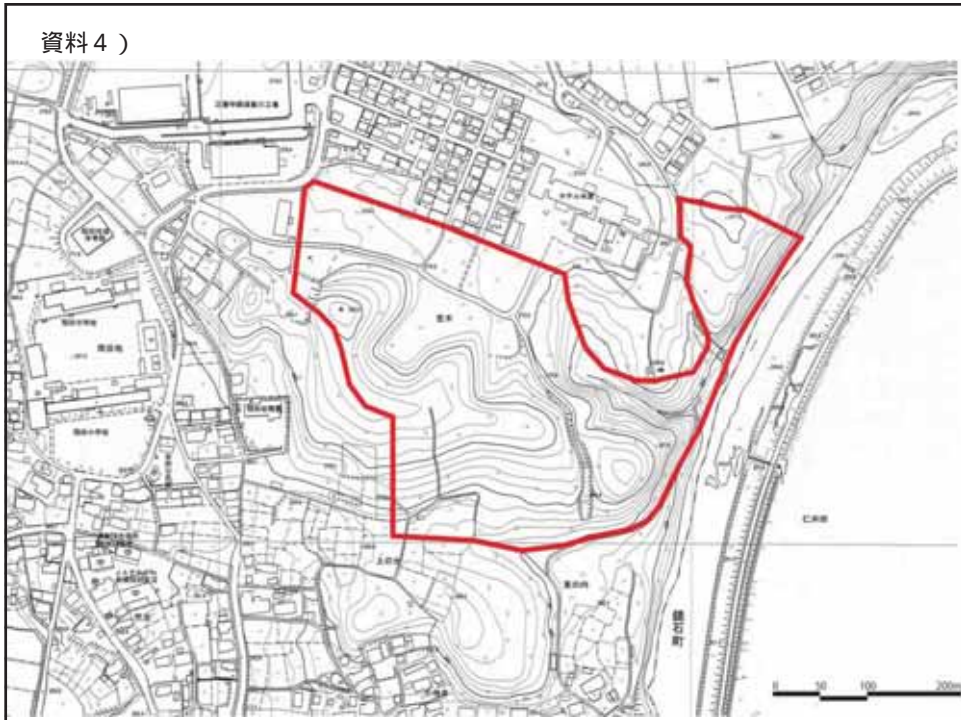
資料2)

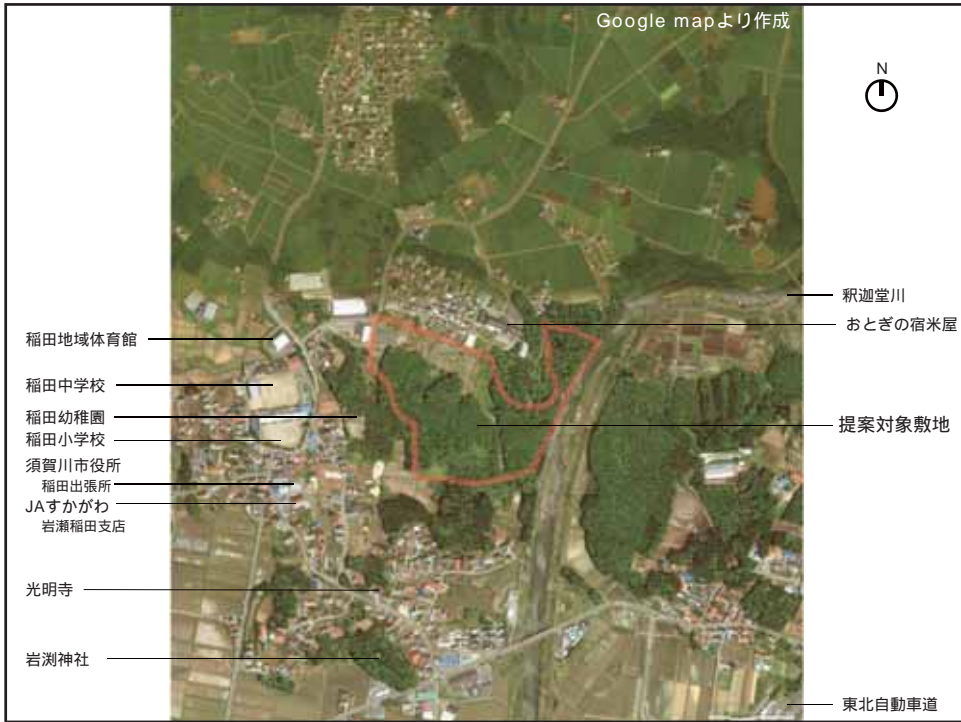


資料3)



資料4)

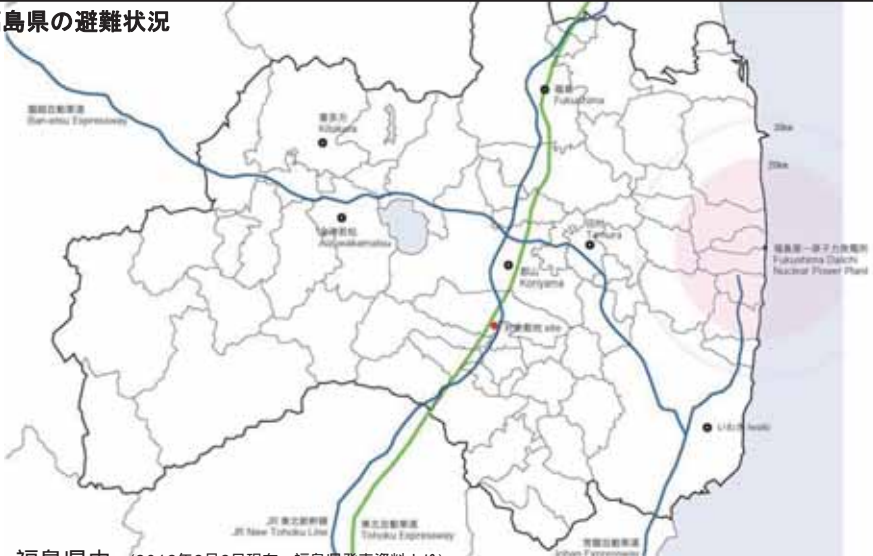




第2回郡山アーバンデザインセンター・コンペティション
現地説明会
コンペテーマに関連して
UDCKo センター長
清家剛

福島現状

福島県の避難状況



福島県内 (2012年2月2日現在 福島県発表資料より)
 仮設住宅 **15,797戸 31,616人**
 借上げ住宅 **25,033戸 63,852人** (特例含む。市町村において確認できたもの)
 県外避難者数 (2012年2月2日現在 福島県発表資料より)
62,262人 (1月12日現在 確認できているもの)

田村市・田村地域デザインセンターUDCTでの活動を通して



**田村市常葉町
常葉まちづくり
基本方針の検討**

- ・外から人が来てくれないなど厳しい現実への困惑
- ・冷静に受止め、今後のまちづくりを真剣に考えはじめている。

**田村市都路町
都路住民との
意見交換**

- ・除染作業、公的機能の再開、賠償、健康への不安、住民間の温度差などの課題
- ・帰りたいけれど、すぐには帰れない。

仮設住宅での避難生活



**船引第1運動場仮設住宅
の盆踊りの様子**

船引第1運動場仮設住宅

船引第2運動場仮設住宅



福島県の放射能の状況

福島県ホームページより







郡山市 体育館(4/9撮影)



郡山市 無被害のCW(4/9撮影)

須賀川灌漑用ダムの被災



須賀川灌漑用ダムの被災



環境に配慮した住宅

基本理念

1. 豊かな自然とともに暮らす
2. 持続可能なコミュニティの実現
3. 自然エネルギーの活用

高気密高断熱の住宅
ヴォーバンの集合住宅



プラスエネルギー住宅
ドイツ・フライブルグ



太陽熱利用事例
ハンブルグ カールスヘーエソーラー団地



太陽熱利用
アーヘン 壁面集熱の事例



太陽光発電
オランダの集合住宅



太陽光発電
オランダの集合住宅



Nieuwland

敷地:アメルスフォート
発注:アメルスフォート市
建設:SCW Housing 等
工期:1995-1999
面積:170ha
人口:12000人
戸数:4500戸



Nieuwland



Nieuwland



環境配慮型住宅の優秀な事例 BedZED

敷地: ロンドン南西部
発注: The Peabody Trust
建築家: Bill Dunster
工期: 1999-2001
面積: 16ha
人口: 約250人
戸数: 82戸



BedZED



神戸市 市営コレクティブハウジング



